
令和4年度全国学力・学習状況調査の調査結果
の活用による指導改善に向けた説明会

中学校 国語
(事例編)

本動画の内容

- 具体的な実践事例
- 先生方をお願いしたいこと

言語活動を通して、指導事項を指導する

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、**言語活動を通して**、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

自分の考えを書くために

〈対象学年〉第1学年

単元名

考えの根拠を明確にして書こう

指導事項 【B 書くことウ】

根拠を明確にしながらか、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

指導に当たって

自分の考えが伝わる文章になるように、根拠が明確になっているかを確認

- ・自分の考えが確かな事実や事柄に基づいたものであるかを確認める。
- ・自分の思いや考えを繰り返すだけでなく、根拠を文章の中に記述する必要があることを理解して書く。

自分の考えを書くために

2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた【意見文の下書き】と友達を書いた【コメントの一部】、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよろこんでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入っていない。」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。

しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちも意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないだろうか。

中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「^(注1)ロボット、^(注2)AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

➡「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野における^{ソサエティ}Society5.0^{*}の実現」

※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
^(注3)ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

(農林水産省ウェブページによる。)

(注1) AI=人工知能。
(注2) IoT (アイオーティー) = 自動車や電化製品などの様々なものがインターネットに接続されているシステム。
(注3) センシングデータ=センサーを利用して計測・判別し、収集した情報。

自分の考えを書くために

1 学習の見通しをもつ

【意見文の下書きとコメントの例】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取り除く作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことを喜んでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない。」とのことだった。

スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。 例えば、農林水産省の資料によると「作業の自動化で人手を省くことが可能に」 なったり、「作業の記録をデジタル化し、誰でも生産活動の主体になることが可能に」 なったりすることに加え、「農作物の生育を予測し、高度な農業経営が可能に」 なったりすることが示されている。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちも意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないのでしょうか。

中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

小林
農林水産省の資料を引用して書き加えてみましたがどうでしょうか。

石田
様々な情報が書き加えられたので、根拠がはっきりしたと思います。

山口
作業を自動化すること以外の効果を取り上げたのはよいですが、「 」で引用している部分が資料の文章とは違ってきます。

【意見文の下書きとコメントの例】を読み、引用の際に気をつけることを考えましょう。まず、石田さんと山口さんがどのようなコメントをしているか確認しましょう。



自分の考えを書くために

2 グループで【意見文の下書きとコメントの例】を読み、石田さんと山口さんのコメントについて検討する。

小林さんは、上野さん
中村さんのコメントを
読んで、スマート農業
の「作業を自動化する
こと」以外の効果を書
き加え、その適切さを
尋ねていますね。



私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取り除く作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことを喜んでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない。」とのことだった。

スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。例えば、農林水産省の資料によると「作業の自動化で人手を省くことが可能に」なったり、「作業の記録をデジタル化し、誰でも生産活動の主体になることが可能に」なったりすることに加え、「農作物の生育を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して追加していた。

これは、私たちも意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していくだろう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないのでしょうか。

中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

小林
農林水産省の資料を引用して書き加えてみましたがどうでしょうか。

石田
様々な情報が書き加えられたので、根拠がはっきりしたと思います。

山口
作業を自動化すること以外の効果を取り上げたのはよいですが、「 」で引用している部分が資料の文章とは違っています。

確かに資料から情報は引用されていますが、本当にこれらの情報を全て入れる必要があるのでしょうか。



山口さんのコメントにもありますが、引用するときは、元の文章を変えず、そのまま正確に抜き出す必要があります。

自分の考えを書くために

3 各自で修正案を書き、グループで交流する

修正前

スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。例えば、農林水産省の資料によると「作業の自動化で人手を省くことが可能に」なったり、「作業の記録をデジタル化し、誰でも生産活動の主体になることが可能に」なったりすることに加え、「農作物の生育を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。



修正例①

例えば、農林水産省の資料によると、「作業の記録をデジタル化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に」なったりすることに加え、「農作物の生育を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。

小林さんが修正した文の直前に「スマート農業には作業を自動化する以外の効果もあるようだ」とあったので、「しかし、」につなげるためには、小林さんが書き加えた「作業を自動化」することについての情報は不要だと考えました。



自分の考えを書くために

3 各自で修正案を書き、グループで交流する

修正前

スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。例えば、農林水産省の資料によると「作業の自動化で人手を省くことが可能に」なったり、「作業の記録をデジタル化し、誰でも生産活動の主体になることが可能に」なったりすることに加え、「農作物の生育を予測し、高度な農業経営が可能に」なったりすることが示されている。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。



修正例②

例えば、農林水産省のウェブページにある資料には、「作業の自動化」以外にも、「熟練者でなくても生産活動の主体となることが可能」な「情報共有の簡易化」と「農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農場経営が可能に」なる「データの活用」が示されている。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。
 ➡「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0*の実現」
※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
 ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
 位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
 ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

（農林水産省ウェブページによる。）

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】には、スマート農業の効果が三つに分けて示されていて、それぞれに見出しが付いています。これらを使えば、読む人にとっても分かりやすくなると思います。



自分の考えを書くために

4 学習を振り返る

【板書例】

- ◎ 引用する際の留意点
- ・ 資料中の言葉は省略したり書き換えたりすることなく、かぎかっこ「」でくくって書く。
 - ・ 自分の考えの根拠を明確にするために必要な情報を取り上げて書く。
 - ・ 単に引用するだけでなく、引用した箇所が前後の内容と適切につながっているか確かめる。
 - ・ 出典を明示する。

今後、引用して文章を書く際には、これらのことに留意して書きましょう。

他教科等の学習や日常生活の場面で自分の考えを伝える際においても、自分の意見を支える根拠を明確にするようにしましょう。



「表現の技法」の知識を使えるものにするために

表現の技法の指導について

小学校での学習を踏まえ、中学校では、それぞれの技法が「比喻」や「反復」などの名称で呼ばれていることと結び付けて、その意味や用法とともに理解し、話や文章の中で使うことが求められている。

指導上の留意点

表現の技法の名称と用法の暗記にとどまらず、その表現技法がどのような特徴をもつのかを理解することで、表現の技法についての知識を使えるものとする。

具体例

- 比喻の種類について整理する学習を、
- ・ 文学的な文章を読む学習の学習過程に位置付ける。
 - ・ 読み終えた文章を用いて取り上げて指導する。

取り上げた表現を比較できるような板書

◎ 比喩表現を分類して
特徴を確かめよう

□ 直喩

- ・ おさぼるような
- ・ 焼きつくような昼下がりに
- ・ まるで宝を探す人のように
- ・ まるで世界のおきてを
代表でもするかのように

□ 隠喩

- ・ とび色のピロイドの羽

□ 擬人法

◎ 迷
・ たちまち外の景色は
闇に沈んでしまい

- ・ 四つの大きな不思議な斑点が
僕を見つめた。

それぞれの表現の仕方にどのような特徴があるかについて話し合ってみましょう。



〔板書例〕

◎ 比喩表現を分類して
特徴を確かめよう

□ 直喩
・ おさぼるような
・ 焼きつくような昼下がり
・ まるで宝を探す人のように
・ まるで世界のおきてを
代表でもするかのよう

□ 隠喩
・ とび色のビードロの羽

□ 擬人法
③ たちまち外の景色は
闇に沈んでしまい
・ 四つの大きな不思議な斑点が
く僕を見つめた。

ここでの直喩には「ような」という助動詞が使われていますが、「とび色のビードロの羽」にはそれが無いので、印象が強まる感じがするね。

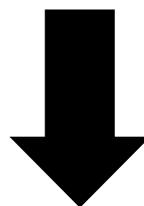


擬人法は、人ではないものを人に見立てて表現する比喩ですね。「たちまち外の景色は闇に沈んでしまい」は「景色」を人に見立てているわけではないので、擬人法ではないと思います。



国語科における授業づくりについてのチェックポイント例

- 国語科の年間指導計画について、どの時期にどの指導事項を指導するのかを意識して作成している。
- 全国学力・学習状況調査の結果等を基に、どの指導事項の定着に課題があるのかを明らかにし、指導計画等に反映させている。
- それぞれの指導事項を指導するために、効果的な言語活動を設定した授業を構想している。
- 評価方法が明らかであり、効率的に評価するための工夫が考えられている。
- それぞれの評価規準について、「努力を要する」状況の生徒への手立てが考えられている。



生徒一人一人の状況に応じた学習指導の改善・充実を図りましょう